

【ベトナム—サービス】

山田コンサル、ハノイ支店設立の式典を開催



ベトナム現地法人のハノイ支店設立レセプションであいさつした山田コンサルティンググループの増田社長=22日、ハノイ

市場調査や企業の進出戦略などを支援する山田コンサルティンググループ（東京都千代田区）は22日、ベトナム現地法人ハノイ支店の開設セレモニーを実施した。同社は、昨年6月の現法「山田コンサルティング・アンド・スパイア・ベトナム」（ホーチミン市）設立に続き、今年6月にハノイ支店を開設した。

【ベトナム—食品】

域内の砂糖関税撤廃、業界の保護策も検討

ベトナムは来年1月1日から、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの砂糖輸入関税を撤廃する。当局は国内製糖業界への影響を注視する方針だ。ベトナム国営通信（VNA）が21日に伝えた。

関税撤廃は、ASEAN自由貿易地域（AFTA）に基づくASEAN物品貿易協定（ATIGA）にベトナムが批准したため。政令23号（23/2019/TT-BC

T）によると、関税撤廃の対象は、輸出入統計品目番号（HSコード）上4桁が「1701」の品目になる。

商工省は、関税撤廃後の国内製糖業界への影響を小さくするため、農業・地方開発省やベトナム砂糖協会と連携を強化すると説明。急激な輸入量の増加があった場合は、貿易救済措置の導入など対応策を取る方針だ。

【ベトナム—農水】

ダクロク水産、最新技術でロブスター養殖



ベトナム中南部フーイエン省のダクロク水産社は、オーストラリア科学産業研究機関（CSIRO）の水産部門と合意した最新技術の導入支援を受け、ロブスター養殖を行っている。これにより、以前と比べて3～4カ月早い収穫を見込んでいる。21日付ダウトゥ電子版が報じた。

ダクロク水産のレ・ヒュー・ティ副社長によれば、現

在、同社では循環ろ過養殖方式（RAS）を導入して陸上に設置した18のいけすで、約2,000匹のロブスターを養殖している。RASは、陸上養殖で水質管理やロブスターなど魚介類の健康管理が良好に行えるとされている。これまでに、6カ月で1匹当たり300グラム程度まで成長しており、伝統的な方法よりも3～4カ月早く収穫できる見込みという。

RAS養殖は全国初のプロジェクトで、科学技術省の技術革新計画に含まれる「国家レベルの科学技術テーマ」と位置付けられている。効果が確認できれば、フーイエン省内外の養殖業者に技術を移転する計画だ。